

あなたからの誕生日の贈り物

あなたはこの誕生日にスワミに贈る贈り物について考えていることでしょう。あなたが人類同胞を愛し、人類同胞の苦痛を分かち合い、人類同胞への奉仕に従事しているときにのみ、あなたは「自分はスワミに好ましい贈り物を送った」と喜ぶことができます。それこそが、私の望む贈り物です。神に贈るプレゼントは、清らかで、揺らぐことのない、無私の愛でなければなりません。

この誕生日に、私は一つだけ望みがあります。私がそれを望むのは、ひとえに皆さんの歡喜を促すためです。皆さんは、来るべき60歳の誕生日に向けたプログラムを計画中です。60歳の誕生日が来る前にも、皆さんは少なくとも6000の村を選んで、模範的な村人になるための適切な方法を介して、村々を向上させなければなりません。裕福な人や権力のある人には大勢の使用人がいます。しかし、困窮している人、貧困にあえいでいる人、苦しんでいる人には、誰も仕えてくれる人はいません。そうした人たちのところに行って、その人の友人に、親類に、その人の幸せを願う最も近しい者になりなさい。そのような者として、その人たちに歓迎されなさい。

もしも、空腹に苦しんでいる人の耳元で靈性を説いたとしても、それは相手の耳には入りません。空腹を満たすのが先です。そのような人には食べ物という形をとった神を与えなさい。衣類という形をとった神を与えなさい。不安を抱いて苦しんでいる人には、平安という形をとった神を与えなさい。病気で苦しんでいる人には、薬という形をとった神を与えなさい。何であれ、恐れと痛みと悲しみを和らげることのできるものの形をとった神を与えなさい。これらが為されたときにのみ、靈性は人のハートに染み込んでいくことができるのです。もしも、それとは逆のことをするならば、靈的な感情ではなく、無神論を助長することになってしまうでしょう。

サイの原理には利己的な衝動はない

ですから、私たちのオーガニゼーションのユニットは、6000の村で教育と医療と通信設備を提供するか、増強するかしなければなりません。飲み水を得るために村人たちが苦勞している村もあります。政府が単独でこれらの便の一切を供給することはできません。民衆の協力なしでは、政府は何もできません。政府は自由な存在ではありません。政府は国民の支持を基盤としています。政府が働くことができるのは、民衆が積極的に協力した場合だけです。あなた方は政府に依存することなく、自分たちの力で社会の発展を押し進めていかなければなりません。これは真の靈性修行であり、真の無私の奉仕です。愛の体現となれるよう努力しなさい。万人の主である神に自分の能力と技能のすべてを捧げる心構えをしなさい。神の御名の唱名や苦行や供犠に従事するならば、あなた方は神の愛という報いを得ます。あなた方が努力を傾ける目的として、神から神聖な愛を受け取ることよりも大きな偉業がありますか？

しかしながら、あなた方はこの愛の性質と意味を理解しなければなりません。あなた方は今、その愛の本質に関して、自分の認識のレベルでその愛を体験し、分かち合っています。それは誤りです。それはあまりにも字義的な解釈です。その愛の本質には、ほんのわずかなエゴもなければ、穢れけがもありません。それはまったく利己的な執着のないものです。サイが行うこと、サイが考えること、サイが言うことは、すべてあなた方のためであり、サイのためではありません。私の望みはあなた方の喜びアーナンダだけです。あなた方の喜びは私の喜びです。私にはあなた方の喜びとは別の喜びはありません。

「スワミはこれをしている、あれをしている」とあなた方は推測します。しかし、私はそれを自分のためにしているわけではありません。私はあなた方のためにしているのです。昨年の誕生日に、私はその点について話をしました。(皆さんが信じようと信じまいと、)私は自分のためには一銭も使いません。私が何をすることにせよ、私は一切を社会のためにします。[降誕してから]56年が経ちましたが、私はシャツ一枚、ローブ一枚さえ、自分のために誂あつらえたことはありません。今、私が着ているのは、キングダム・オブ・サティヤ・サイ〔サイの学校の男子同窓会〕のラーダークリシュナという学生〔卒業生〕から贈られたものです。「私はこれやあれを持っていなければならない」という考えが私に生じたことは、今日だけでなく最初から一度たりともありません。今もそのような考えが生じることはありません。どんな時でもありません。私に生じる考えの一切は、世界の平安と安寧のため、若者の成長のため、そして、道に沿って他の人たちを率いていくことになる理想的な男子女子を立派に変容させるためのものです。あなた方は世界の人々のための奉仕に身を捧げ、サイの行動基準には利己的な衝動はないということがわからなければなりません。

勝利の日は近づいている

今月が終わったら、私はバーラタ〔インドの正式名称〕全土を旅して、体力的な理由、あるいは資金的な理由でここに来ることができない人々を祝福するつもりです。私はそのような人たちにチャンスを与え、喜びを授けたいと思っています。これは大切なことですが、スワミのために市街地や都市でのプログラムを準備する代わりに、村でのプログラムを準備しなさい。出費を抑えて、村に施設を提供するためにお金を節約しなさい。私はすべての村を訪問したいと思っています。しかし、そうすると、皆さんはそれ相当の準備をしなければなりません。私は歩いてでも行くことができますが、何十万という人々が集まることになるため、皆さんはその人たちの面倒を見なければならなくなります。皆さんが村でのそうした必要を満たすことに取り組むのであれば、私はバーラタ文化の本質と実践を広めに出かけて行くでしょう。

私は、バーラタ人の生き方を復興し、再建することを通じて、喜びアーナンダを育てようと決意しています。これは失敗することなく為されます。バーラタ人のダルマは、他国に自信をもって提案することができるものです。絶望することも、自責の念に沈む必要もありません。勝利の日は近づいています。私たちは勝利の太鼓の音を聞くことができます。

神聖アートマの化身である皆さん、

皆さんには見ることはできないかもしれませんが、私の目にははっきりと見えています。日が経つにつれ、今はスワミの真実に気づくことができないでいる人も、悔恨の涙

を浮かべて私のもとにやって来て、私を体験することになるでしょう。近いうちに、それは世界的なものとなるでしょう。スワミは今、その展開を抑えています。ひとたびそれが解除されれば、全世界はプラシャーンティ・ニラヤム〔平安の館〕へと変容します。ですから、自分の目の前に置かれた理想を日常生活の中で実践することを決意したあなた方全員、前に進み出なさい。何年か後、今あなた方が得ているチャンスを得られなくなる時がやって来ます。こんなにも〔スワミの〕近くにいられる機会は持てなくなるでしょう。何百万という人がこの場所に押し寄せ、ここに集うようになるでしょう。近いうちにそうなります。ですから、奉仕活動を通じてスワミの慈悲と愛を獲得し、自分の人生を意味のあるものとしなさい。

サイ・ムーブメントはさらに意気揚々と前進する

ダイヤモンドは多面体にカットされ、カット数が多くなればなるほど、輝きの美しさは増し、値段はつり上がります。オーガニゼーションの発展、オーガニゼーションが体現し展開しているサイの原則に耐えることができない人は、非難や中傷をしたり、あざ笑ったり、妨害したりするかもしれません。しかし、このムーブメントが弱まることはありません。障害が大きくなればなるほど、さらに意気揚々と前進するでしょう。そうした障害は、拡大と輝きを助長させ、役立つことになるのみです。憎しみはアスーヤ〔妬みや悪意〕という邪悪な性質から生じますが、このムーブメントはアナスーヤ〔妬みや悪意がないこと〕を基盤としています。ですから、障害に注意を払ってはなりません。定められた理想と義務を守り、オーガニゼーションと、オーガニゼーションのプログラムに専心しなさい。

この場所に来て、この機会に乗じたのですから、あなた方が見たこと、聞いたことを大切にハートに留めて、何としてでもそれらを実践しようと心に決めなさい。決意と実践は同時に為されなければなりません。基本計画を立て、他の人たちと協議の上、明日からプログラムを実行しはじめなさい。それはすべての国で実施されなければなりません。アーンドラ・プラデーシュ州だけがサイのものだなどと考えるはなりません。すべてはサイのものです。すべては一つです。私たちはあらゆる方法を使って、このカリユガ〔末世〕の時代に、この真理を認識して打ち立てようと努めなければなりません。これが、今日、私が皆さんに伝えているメッセージです。私はあなた方の望みをすべて叶えています。ですから、あなた方は私のこの一つの望みを叶えなければなりませんよ。

あなた方が、長生きと健康、喜びと平安と繁栄を得て、自分の体、心、知性、霊的な力、そして技能を、国家と全人類への奉仕に捧げることができるよう、私は皆さんを祝福します。

1982年11月23日
プラシャーンティ・ニラヤム
Sathya Sai Speaks Vol.15 C55